

**BIG NEWS****西中学校マスコットキャラクター決定！！！！**

西中学校のマスコットキャラクターが決定しました。全校生徒から募集したイラストをもとに、生徒会のメンバーがみんなの意見を集約してくれて、見事、3年生のイラストが選ばれました。西中学校の新しい顔ともいふべき、かわいいマスコットが決定し、みんな笑顔が増えた気がします。3学期には名前の募集を行う予定です。表現することとして始まったこの企画ですが、実現に協力してくださった皆さんに感謝です。



あなたの描いたゆるキャラすなわち西中マスコットキャラクターはなかなかのアーティスト性と個性あふれるゆるゆる感を全面的に出し、かつ西中を主張するキャラクターとしてこれぞふさわしい!!だから今後西中及び西中付近のあらゆる所に現れることになるであろう☆からの155名の中からNo.1に選ばれたので、ここにこれを賞します。

**Merry Christmas**

令和2年12月24日 河内長野市立西中学校の先生たち一同（代表 松原校長）

## ★安全安心の学校ニュース

### ●2学期終了のお礼

2週間だけの短い短い夏休みのあと、8月24日に始まった2学期が、ようやくゴールを迎えました。

新型コロナウイルス対策として、消毒の徹底・ソーシャルディスタンスの確保・マスクの常時着用・モックルガードの活用など、できる限りのことは行いました。また、授業時数確保のため、始業式や終業式にも授業を行い、7時間授業を6日間、取り入れました。お陰様で、受験やチャレンジテストに支障がないところまで、各教科の学習を進めることができている。1・2年生の国語の授業では長期間ご迷惑をおかけしましたが、今は専門のベテラン教師が経験をいかして指導しています。

また、2学期には「3年生：修学旅行」「体育大会」「1年生：宿泊学習」「2年生：服のチカラプロジェクト」「1年生：ふるさと学観心寺現地学習」等、様々な取り組みが特別な形で行われました。

修学旅行は方面を長崎県から長野県に、交通手段も電車からバスに変えました。教頭が現地まで自家用車で並走し、いざというときのために備えました。体育大会は、残念ですが観客数を減らして行いました。そのためにご来賓や地域の方々にご観覧いただくことができず、申し訳ないこととなりました。宿泊学習や現地学習も様々な配慮のもと行いました。

そんな中でも、毎年行われている行事をできる限り行うことで「継続は力なり」という言葉を学ぶ機会をつくりました。また「服のチカラプロジェクト」のように、新しい取り組みにチャレンジする行事も行いました。「発想」「行動」「発信」という「これから生きる力」を学ぶ良い機会となりました。今後も「継続」と「チャレンジ」を両輪として、子どもたちを育てていきたいと思っています。

本校学校関係者の新型コロナ陽性が確認された際には、西中学校の団結力に救われました。さまざまな心配をお感じだったと思いますが、学校への保護者からのお問い合わせはゼロでした。また、子どもたちから「誰が休んでいたのか」という声もありませんでした。まさに西中学校関係者全員の危機管理対応力の高さを改めて感じました。学校を混乱から救って大切な日常を確保し、感染者を差別から救い、今後、感染者が出た場合でも、安心してそのことを学校に

ご相談いただける環境にあることが、証明されました。

PTA 会長さんをはじめ、本部役員さんや運営委員さんにも、様々な面でご協力いただきました。体育大会での検温、会場準備や片付け。地区委員さんや学級委員さんによる交通安全指導。購買環境委員さんによる購買の運営や地域清掃のご協力。PTAのみなさまのご意見のおかげで、窓の網戸や通学路の安全確保などの要望が河内長野市としての動きにつながりつつあります。保護者や地域のみなさまに支えられる西中学校であることを痛感しました。

新型コロナの状況は、まだまだ安心できる状況にはありません。ただ、ワクチン接種が始まるなど、少しずつ状況は良い方向に変わりつつあります。生徒・保護者・地域・教職員で団結して、この状況を乗り越えていきたいと考えています。

## 新年もどうぞよろしくお願ひいたします。

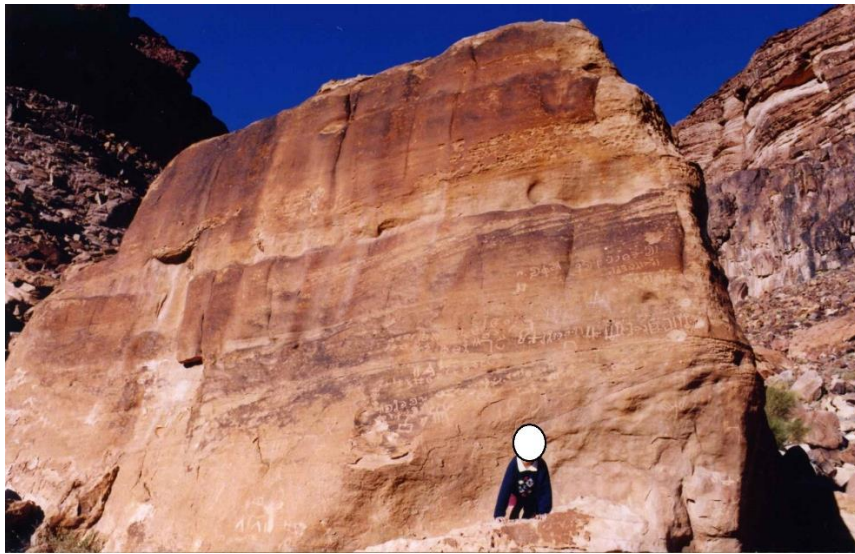
### ★魔法のじゅうたんについて

#### ワディーラム

ヨルダンのペトラに行く前に、ワディーラムという場所に立ち寄りしました。赤い砂と岩の砂漠で、数多くの映画のロケ地になっています。とくに、その赤い景色から火星を連想させるので、宇宙映画のロケにも使われました。ワディーラムまでは、レンタカーで行き、砂漠に入るときは、現地人ガイドの車で入りました。とても気さくな人で、子どもたちも大変なついていました。



知恵の七柱といわれる有名な岩山です。「アラビアのロレンス」など映画の撮影でもよく使われます。



驚くほどたくさんの、古代文字や絵地図があり、しかも、全くガードがなく、自由に手でさわられる様子でした。見て回る側としてはうれしいのですが、貴重な文化財保護は大丈夫か、と不安も感じました。





ペトラから、聖書で有名なシナイ半島（映画十戒の景色そのものでした）を通して、死海に移動するのですが、ペトラを出る前に重大な事実気が付きました。レンタカーのガソリンが少なくなってきたことでした。しかし、付近にはガソリンスタンドは見当たりません。困って現地の人に聞くと、この辺りにはガソリンスタンドはないとのこと。死海までの行程はかなり長く、とてもガソリンはもちません。困り果てていると、あるアラブ人が車についてこいと言いました。おそろおそろ彼の後を車についていくと、ある小屋の前で止まりました。中には大きなドラム缶がありました。彼はそのドラム缶にホースをいれ、もう片方のホースの先を自分の口に入れ、中の液体を吸い込みました。彼の口には液体が入り、それを吐き出しつつ彼はそのホースを私の車の給油口へ。家庭用のガソリンを初対面の外国人である私のために分けてくれたのでした。しかも口にガソリンを入れまでして。代金を払おうとすると、「マイフレンド！気にするな」と、受け取りません。

UAEで生活していてよく感じたことですが、アラブの人は、列に並ばないで横入りしたりすることが多くあります。迷惑をかけることもあるのですが、他人がかける迷惑に関しても寛容であることが多いです。また、困っている人がいたら助ける。このときもそうですが、私は何度もそういうアラブ人に救われてきました。人とふれあって初めて人の温かさを感じることができるのだなあと改めて実感した出来事でした。